

日本コソボ国交樹立記念文化交流特別演奏会諏訪公演（日コソボ共同制作公演）
同胞コソボフィルハーモニー交響楽団を率い来日！

平和への祈りを込めた 柳澤寿男の魂に迫る！



Photo © 木之下 晃



モーツァルト・レクイエム

二短調 K.626

バキ・ヤシャリ（コソボ作曲家）

：弦楽とティンパニーのための“LOTTAPACE”

バルトン・ベチリ（コソボ作曲家）

：弦楽と打楽器のための“スピリット・オブ・トラディション”



お話：石田ひかり



ソプラノ：大岩千穂



アルト：竹本節子



テノール：大野光彦



バリトン：稲垣俊也

2010
7.17 (土)

13:00開場 14:00開演

【指揮】柳澤寿男（コソボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者）

【お話】石田ひかり（女優）、柳澤寿男

【管弦楽】コソボフィルハーモニー交響楽団と平和を願う日本の音楽家の合同オーケストラ

【独唱】ソプラノ：大岩千穂、アルト：竹本節子、テノール：大野光彦、バリトン：稲垣俊也

【合唱】コソボフィルと唱う諏訪特別合唱団

【合唱指導】近藤 基

岡谷市文化会館 **カノラホール**

入場料：全自由席 **3,000**円(税込) チケットはホール
事務所において取り扱っております ☎ 0266-24-1300

主催：日本コソボ国交樹立記念文化交流特別演奏会実行委員会、日本コソボ国交樹立記念文化交流特別演奏会諏訪公演実行委員会
共催：コソボ共和国文化庁、岡谷市、(財)岡谷市国際交流協会
後援：外務省、(独)国際交流基金、長野県、長野県合唱連盟、諏訪清陵高等学校同窓会、(財)諏訪郷友会
お問い合わせ：諏訪公演実行委員会事務局（小口）080-3500-7088

ご案内とお誘い

下諏訪町出身で、現在コソボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者、バルカン室内管弦楽団音楽監督である柳澤寿男さんが、このたび日本とコソボ共和国の国交樹立記念文化交流第1号として、日本全国4か所（岡谷、岐阜羽島、金沢、東京）で演奏会を開きます。その初日に、岡谷市のカノラホールで、彼の平和に対する強い思いに賛同した合唱団（岡谷合唱団、女声コーラスしなの、川岸女声コーラス、歌い人ごんべ、コーラス木曜会、スワ・セシリア）と県内からはせ参じた男声有志で組織した『コソボフィルと唱う諏訪特別合唱団』により、モーツァルト・レクイエムを軸とした文化交流演奏会を開催します。ナビゲーターに女優石田ひかりさんを迎えてのコンサートです。ひとりでも多くの方々に日本初となる日本コソボの文化交流の歴史的瞬間を見届けていただきたく、ご案内と共にお願い申し上げます。

出演者プロフィール

指揮：柳澤寿男

パリ・エコール・ノルマル音楽院オーケストラ指揮科に学ぶ。指揮を佐渡裕、大野和士に師事。スイス・ヴェルビエ音楽祭指揮マスタークラスオーディションに合格し、名匠ジェームズ・レヴァイン、クルト・マズアに師事。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)第2位。以降、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京交響楽団、東京都響、新星日響、東京シティフィル、仙台フィル、アンサンブル金沢、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、兵庫県芸文センター管などに客演指揮。2007年、女優秋野暢子を語り手にストラヴィンスキー「兵士の物語」(日本フィル)を公演。2008年、関西二期会オペラ公演ビゼー「カルメン」(兵庫芸文管)、2009-2010年、札幌室内歌劇場札幌公演、東京新国立劇場招へい公演オルフ「月を盗んだ話」、2010年、ヴェルディ「ナブッコ」演奏会形式(名古屋フィル)に出演。

2005-2007年、マケドニア旧ユーゴスラビア国立歌劇場首席指揮者。2007年3月、99年のNATO北大西洋条約機構の空爆以降、UNMIK国連コソボ暫定行政ミッション統治下のコソボフィルハーモニー交響楽団に客演を果たし大成功を収める。2007年10月、コソボフィルハーモニー交響楽団常任指揮者に就任。2009年5月には首席指揮者に昇任。またこの間、サンクトペテルブルグ交響楽団、サラエボフィルハーモニー交響楽団、アルバニア国立放送交響楽団、イスタンブール国立歌劇場などに客演指揮。一方で2007年、バルカン半島の民族共栄を願ってバルカン室内管弦楽団を設立。同年10月、ニューズウィーク日本版「世界が尊敬する日本人100」に選出される。2009年5月、バルカン半島の民族対立の象徴的な地のひとつとも言われるコソボ北部トロピツァでUNDP 国連開発計画、ABD 特定地域対象プログラムなどの協力を得て、セルビア人、アルバニア人、マケドニア人を楽団員にKFOR 国際安全保障部隊、コソボ警察、UNMIK 警察の保護のなか、約20年ぶりともなる両民族の歴史的共演を実現。2009年11月には、楽団設立当初よりサポートしてきた国際交流基金主催による東京公演が実現し、漆原啓子(ヴァイオリン)、吉村美華子(ピアノ)、三枝成彰(作曲家)、星野知子(女優)と共演。2010年5月には、さらにボシュニアク、セルビア系、クロアチア系ボスニア人を楽団員に加えサラエボでの公演を実現。また、2010年は人間の安全保障協会主催によるニューヨーク国連本部でのコンサートが予定されている。柳澤寿男とバルカンの活動はNHK総合テレビ「おはよう日本」、TBSテレビ「筑紫哲也NEWS23」、BSジャパン(テレビ東京系)「戦場に音楽の架け橋を」など多くのメディアで日本にも伝えられている。

現在、コソボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者、バルカン室内管弦楽団音楽監督。

[ソプラノ独唱] 大岩千穂

ヴィオッティ音楽院(伊)を経て、25歳で『椿姫』タイトルロールでイタリアデビュー。その後『カルメン』ミカエラ、『ラ・ボエーム』ミミ、『蝶々夫人』タイトルロール等本場欧州の歌劇場で主要な役を演じて活躍。また、フロリダ・パームビーチ・オペラ(米)にてレナータ・スコット演出『蝶々夫人』でアメリカデビューを果たす。国内でも新国立劇場、及び東京二期会『ラ・ボエーム』、兵庫県立芸術文化センター『蝶々夫人』等当たり役を演じ、情感豊かな演唱で絶賛されている。最近では2009年びわ湖ホール『サロメ』タイトルロールで新境地を拓く等、ドイツものでも成功を収めている。これまで、グローバル東敦子賞、村松賞、五島記念文化賞オペラ新人賞等受賞。二期会会員。

[アルト独唱] 竹本節子

大阪音楽大学卒業。深く豊かな美声と巧みな演技力で常に絶賛を博しており、これまでに『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツァ、『シンデレラ』タイトルロール、『ファルスタッフ』クイックリー夫人、『ラインの黄金』エルダ、『サムソンとデリラ』(演奏会形式)デリラ等、メゾソプラノ、アルトの主要な役で高い評価を得ている。コンサートに於いても、ガリー・ベルティエニ等世界的指揮者や主要オーケストラからの信頼が厚く、ブラムス「アルト・ラブソディ」、シェーンベルク「グレの歌」、ヴェルディ「レクイエム」等で高い評価を得ており、殊にマーラー「交響曲第2番“復活”」では秀逸な歌唱は聴衆に深い感動を与えている。二期会会員。

[テノール独唱] 大野光彦

愛媛県出身。新居浜少年少女合唱団創立メンバー。国立音楽大学附属高校、及び同大学声楽科卒業。卒業後、二期会合唱団を経てソリストとなる。その後サントリーホール主催のオペラアカデミーやイタリアにて研鑽を積み、スロベニアのルブリアーナ国立歌劇場にて『椿姫』のアルフレードを歌う。二期会、新国立劇場、首都オペラ、アーツカンパニー、市民オペラ等にて毎年数多くのオペラに出演する一方、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」等のソリスト。読売交響楽団定期演奏会に出演する等、コンサート活動にも意欲的に取り組んでいる。その他『名曲アルバム』『水曜劇場』に出演したり学校でのスクールコンサートやディナーショー等、幅広い活動をしている。二期会会員。

[バリトン独唱] 稲垣俊也

東京芸術大学卒業。文化庁オペラ研修所第7期生修了。文化庁2年派遣在外研修員イタリア研修終了。パルマ・ヴェルディ国際声楽コンクール優勝。新国立劇場開場記念公演、團伊玖磨「建 TAKERU」主演、二期会創立50周年記念公演、宮本亜門演出「フィガロの結婚」フィガロ役等で活躍。宗教曲ソリストとして、特に3大オラトリオ(エリア、天地創造、メサイア)3大レクイエム(モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルザーク)ではスペシャリストとして定評がある。第3回グローバル東敦子賞、第22回ジローオペラ新人賞受賞。CD「めくるめく季節の中で」、著書「オペラな日々」(いのちのこぼれ)。東京基督教大学、聖学院大学、自由学園各講師。二期会会員。